

第1回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
もんぜんぷら座在り方検討部会 議事録

日時：平成29年10月6日（金）

午後1時30分～午後2時56分

場所：もんぜんぷら座3階 304会議室

出席委員：17名

岩野彰委員、金澤玲子委員、清水秀幸委員、西堀真二郎委員、柳瀬亮太委員、勝田貴子委員、轟直希委員、湯本泉委員、青木武雄委員、太田耕一委員、西澤清文委員、山浦直人委員、落合勤委員、西沢浩委員、大日方薫委員、山田雅之委員、乙部正長委員

欠席委員：4名

横田悦二郎委員、塚田篤雄委員、宮島文子委員、川北泰伸委員

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 委員委嘱
- 4 委員紹介
- 5 事務局紹介
- 6 正副部会長選出、あいさつ

※ 委員の互選により、部会長に岩野彰委員、副部会長に金澤玲子委員を選出

7 議事

(1) もんぜんぷら座の現状について

<資料1>（説明者：事務局） ※ 資料のスライド映写により説明

(2) 部会の役割と進め方及びスケジュールについて

<資料2>（説明者：事務局） ※ 資料のスライド映写により説明

(3) 質疑・意見交換

発言者	発言内容
議長	今回は初めての部会なので、委員1人ずつ、ご自身の立場から発言いただきたい。
委員A	新田町交差点周辺は長野市の商業史を語る上で大変重要な歴史を持ち、今もその地位を維持しているという根源的な部分。1970年代くらいに始まった大型商業施設の進出から2000年代にかけて、新田町交差点は長野市屈指の賑わいを創生するエリアだった。今は一番の賑わいが長野駅周辺に移っているが、路線価や公示価格、基準地価を見ると未だに長野駅周辺に次いで高いエリアとなっている。 そう考えると、この一角を再生して、長野市のコンパクトシティ&ネットワーク構想に沿わせながら、将来の長野市に財産として残していく方向が出せれば、成果をあげたと言えるのではないかと。
委員B	多くの市民がもんぜんぷら座を利用していることが分かったので、TOiGOと一体で整備するのがいいのかなと思う。 そのためにどうすべきかというのは、第2回以降の部会で、改修計画や解体時のシミュレーションを聴く中で考えていきたい。
委員C	地図を見ると分かるが、長野駅から善光寺まで1.8kmと書いてある。大体の世界標

	<p>準では、1マイル（約1.6km）四方で都市が構成されるのが適当だろうと考えられている。</p> <p>中心市街地に行く手段にはバスも車も自転車もある中で、地図を見ながら敢えて徒歩で行ってみようと思える距離を考えた場合、もんぜんぷら座というのは非常に良い立地であることが分かる。</p> <p>私はどのように人間が距離を感じたりするかとか、移動してみたいと考えるかということに専門にしているので、そういう角度から意見を提供させてもらえればと思う。</p>
委員D	<p>もんぜんぷら座の将来についてとともに、今もんぜんぷら座を必要としている人たちの立場も考えなくてはいけないと感じている。こども広場じゃん・けん・ぽんを利用している方は、今この施設が必要なのであって、3年後は卒業しているかもしれないし、学習コーナーを利用している受験生なども、やはり今必要なのだと思う。</p> <p>昨日もんぜんぷら座を利用した際に、どんな方が利用しているのか見渡してみたところ、お昼の時間に飲食をしている方が結構目立った。市内でも屋内で自由に飲食ができるスペースというのは、案外少ないのではないかと思うので、将来と共に、今利用している方のことも考えながら検討していく必要があると感じた。</p>
委員E	<p>多くの地方都市で大規模商業施設撤退後の建物をダウンサイジングして再利用している中、もんぜんぷら座はダウンサイジングせずに活用されてきたということで、市には多くの苦勞があったのではと思う。</p> <p>コンパクト+ネットワークという中で、コンパクトという視点ではまちなか居住という流れの中、生鮮食品の売り場があったりと、この場所が拠点になっているのはもちろん、ネットワークという視点でも、先日前話を聴いた方が、鬼無里からバスで来て、TOMATO食品館で生鮮食品を買って帰るということをやっていた。</p> <p>交通弱者の方々や学生が有効に活用しているという面からも、もんぜんぷら座が重要な拠点であると考えられるので、それらを含めて意見できればと思っている。</p>
委員F	<p>もんぜんぷら座在り方検討部会に興味を持った理由は、信濃毎日新聞の市長選特集記事で「市有施設改修進まず」とあったことと、7月に行なわれた議会と市民の意見交換会に参加した際にも、中心市街地の約200haを全体で考えた開発をするべきだという話になっていたから。</p> <p>これから自分の意見を言っていけたらいいなと思っているが、先に一つ言っておきたいのは、長野駅が立派に改修されたが、一方では長野市の顔の一つが無くなってしまったということでもあり、寂しく思っているということ。もんぜんぷら座を仮に建て替えるとなった場合は、長野市の顔になるようなものになればと思っている。</p>
委員G	<p>もんぜんぷら座を利用して思うのは、この施設には様々な利用形態があるということ。私はどちらかというと会議や研修で施設を利用しているが、長野市の中心市街地にはそういうスペースが多くない。なかなか会議の設営がうまくできない中で、公共施設というのは様々な方法で利用できるのではと考えているので、まずは現状の利用形態をまとめていくことが必要になると思う。</p> <p>施設の状況を説明してもらったが、もんぜんぷら座を今後どのように利活用していくのかという方向性の整理をした方がいいのではないかと思う。そうしないと将来に</p>

	<p>亘つてもんぜんぷら座をどう利用するのか、どういう施設にするのかという方向が見えてこないのではと思っているので、そういう視点で今後意見を述べさせていただきたい。</p>
委員H	<p>普段から利用しているもんぜんぷら座が予想以上に劣化していることを目の当たりにして、ショックを受けている。</p> <p>中心市街地の活性化について色々考えているが、商業の力だけで恒常的な賑わいを生み出すのは難しいと痛感している。マンション等が續々建って、人口も増加傾向にあるとは実感しているが、その中でコンパクトシティという考え方が、この部会に臨む上でも重要であると考えている。コンパクトシティには公共施設が非常に重要な要素になると思っているが、一方で「箱」でいいのかということも率直に思っていて、果たしてどういった形の公共施設がいいのか考えている。</p> <p>この一角には生涯学習センターや公民館などの公共施設が揃っていると思う。それから県立大学のキャンパスも来年の春にオープンするというので、まちの姿も変わりつつあるので、そのようなことも踏まえながら、まちの賑わいを取り戻すためには、もんぜんぷら座を含めてどういう形がいいかを考えていきたいと思う。</p>
委員I	<p>この会議をここまで聴いていると、もんぜんぷら座の建て替えを意識した意見が多いようだ。当店は、ダイエーが長野に来る前から50年以上ここで営業していて、個人的な意見が非常に言いづらい中で敢えて言うと、自分のお店の在り方のほうが重要だということになってしまう。</p> <p>この会議の中には、そういう思いもあるのだということ念頭に置いてもらえればと思う。</p>
委員J	<p>当店も、ダイエーが来る前からここで営業していて、再開発ビルができるからという理由で入居した経緯があるし、ここは歴史のある場所でもあるので、個店としてこの場所を維持していきたいと考えている。</p> <p>しかし、ビル全体のことを考えると個店だけではどうしようもない状況にもなってきているので、衣食住を兼ね備えた自立自営のできるような施設で、中心市街地の核を担う場所であるということ念頭に置いて、特色のある建物・施設として再生されれば良いなと考えている。</p>
委員K	<p>6年位前のデータではあるが、TOMATO食品館を利用している方の64.2%が50歳以上という調査があつて、レジからサッカー台へ買い物かごを移すことさえ困難な高齢者の方にも利用いただいている。</p> <p>また、TOMATO食品館では配達サービスを無料で行なっている。当初は中山間地を想定していたが、現在まで利用している人を見ると、中心市街地にお住まいの方が多い。これは移動手段が無いとか一人暮らしで誰かに連れて来てもらうことができない方が中心市街地には多いということを表していると思う。</p> <p>そういった中、近所にある食品スーパーが建て替えを行なおうとしているのもあるし、生鮮食品を買える場所が中心市街地に少なく、TOMATO食品館が市民の要望に応じて開店したという経緯も含めて、もんぜんぷら座の在り方や時期なども検討していけたらいいと思っている。</p>
委員L	<p>入居した時から元々古い建物だとは思っていたが、ここまで古いのかと改めて認識</p>

	<p>した。それと共に、もんぜんぷら座の位置付けの大切さを非常に実感した。</p> <p>先ほどTO i GOと一体で整備したらどうかという話もあったが、最近訪ねたら結構な空き店舗が見受けられた。一体で開発していけばいいとは思いますが、当社ではこの建物で300名の社員が働いており、業務の拡張により設備も膨張している。</p> <p>今後の検討会議の内容にもよるが、シビアな問題が色々出てくるのかなと感じているところ。</p>
委員M	<p>もんぜんぷら座の老朽化についてはいろいろ聞いていたが、今日の説明で、建物に多くの廃設備が残されていて、館内の有効活用ができていないと感じた。広い敷地があるので、できるだけ有効的に使えればいいと感じている。</p> <p>もんぜんぷら座には当商店街の組合員もテナントとして入居しているので、そういうところでも意見交換をしていければと思っている。商店街にとっては、TO i GOともんぜんぷら座はランドマークでもある。</p> <p>多くの人が集まるような施設になることを期待するが、今後新しく生まれ変わるのであれば、周辺にお店が増えて、雇用が増えて、人口が増えるというところまで視野に入れて、加えて観光客の方にも利用してもらえるようなエリアになっていければいいと思っている。</p>
委員N	<p>もんぜんぷら座は中心市街地の中でも立地的にとってもいい場所。地域住民から見ればスーパーや小売店が撤退していく状況の中で、もんぜんぷら座にTOMATO食品館があるから助かっている。</p> <p>しかし建物を見た限りは大分老朽化していることは確かなので、早目に進めてもらって、より良い発想で、良い拠点ができて、人がまた集まってこられるような検討をしていきたいと考えている。</p>
委員O	<p>ちょうど今、同じようなパターンで権堂地区の検討会議を行なっている。</p> <p>中心市街地の人口が減って過疎化している。どうやって人に来てもらうかと考えた時にコンパクトシティという考え方があるが、マンション1つでは100人くらいしか人口は増えないからそんなに影響は無い。権堂地区では夜のお店や飲食店こそ残っているが、物を売って商売にするのは大変になってきている。</p> <p>償却という面でも、売る物は大体10年のサイクルでどんどん変わっていく。ものづくりの会社にいた時からずっと、10年で電化製品や自動車の部品が変わっていつている。まちも風景は同じに見えても中身は10年で変わっていくので、そういった認識でそれに対応できるような建物を造るべきではないかと思う。維持費が安くできるようにすることも大事だが、中身の方も簡単にレイアウト変更できるようなものにしたりと、多様化にすぐ対応できるようなものにならないと、長い時間使っていくということができないんじゃないかと思う。新田町交差点は権堂よりも場所的には良いと思っているので、ここにいろんな機能を集約していくのも一つの方向ではないかと思う。</p> <p>また、ほとんどの方がまちに車で来る今の状況では、車社会を前提にまちづくりを考えていかないといけないとも思う。国道が2つ交差していて、そういった面ではアリオ上田や軽井沢と同じ立地とも言える。</p> <p>魅力あるまちづくりを進めていくためには、建物をどうするかというのは非常に位置付けとして高いと思われる。将来の用途変更に対してフレキシブルである方が、地</p>

	域を作っていくということになると思う。
委員P	<p>実はこの建物の名称を募集する時に、私の次男のお嫁さんが「もんぜんぷら座」という名称を応募して、施設名として採用された。</p> <p>その時の新聞記事に「もんぜん」はもちろん善光寺表参道に面している場所ということで、「ぷらざ」は広場という意味だが、わざわざ「もんぜんぷら」まで平仮名で「座」だけ漢字にしたのは、「座」という文字に人がたくさん集まるという意味があるらしい。また、プラザには広場という意味だけではなくて、高齢者を表すシルバーより尊敬を込めた言い方である「プラ」チナエイジの皆さんが集まれる場所、それから市民活動の「プラ」ットホームになれる場所、そして誰もが「ぷら」っと行って過ごせる場所、というような意味を込めたと聞いた。</p> <p>平成15年6月のオープニングセレモニーの時に、もんぜんぷら座の名付け親の子供、私から見ると孫を預かっていたが、体重がとても重くて、抱きながら早くセレモニーが終わらないかと思っていた。その子がたまたま昨日15歳の誕生日だったので、本当に15年以上経っているんだと実感した。ただ、改めて思い出してみると、名前を付けた時のお嫁さんの想いが、これからのコンセプトとしても結構いい線いっているのではないかと思う。</p> <p>この場所の立地の良さというのは何物にも変えがたいと思う。ありとあらゆるところから数え切れないほどのバスが来ていて、公共交通はとても便利だし、駐車場もフリンジ(周辺)にたくさんできて、中心市街地エリアの更に中心であるということで、場所に関して言えばこれ以上の場所はない。</p> <p>今まで利用してきた皆さんや、テナント所有者の皆さんの想い、更には運営されてきた皆さんの温かみを感じる部分を、もんぜんぷら座の形が変わっても気持ちとして残して行ってほしいと思っている。</p>
議長	<p>お一人ずつご意見をいただいたが、まだ何か言い足りない部分はないか。</p> <p>無いようなので、これで議事を終わらせていただく。</p>

8 連絡事項 (説明者：事務局)

- ・本日の会議は議事録を作成し、資料と共に後日ホームページで公表する
- ・第2回検討部会は、11月2日(木)午前9時30分から 長野市役所第二庁舎10階会議室203で開催の予定、確定次第改めて正式に通知する

9 閉会